

# 伝記教材を生かした、活動型単元学習の在り方

三原市立本郷小学校 富吉 由味

## 1 実践の趣旨

本学級の児童は、意欲的に読書活動に取り組むことができる。しかし、読みたい本のジャンルが偏っており伝記を手にとって読む児童は少ない。伝記を読む児童は、自分が興味のあるスポーツ選手の伝記であることが多く、伝記を読んで自己の生き方を見つめるまでには至っていない。

また、物語や説明文を読んであらすじや要旨を捉えることはできるが、まとめて短く書くことが苦手である。書き始めるとだらだらと文章が長くなってしまいう児童や、何をどう書いていいのかわからないという児童がいる。

そこで、伝記教材文を使ってあらすじをまとめて短く書く単元を設定した。その時、授業を意欲的に受けさせるために、活動型単元学習を取り入れた。活動型単元学習は、説明文学習では子どもたちともに行っているが、伝記教材で取り入れるのは初めてである。

## 2 実践の概要

(1) 単元名 色々な伝記を読み心に残った人のブックカバーを作り、6年生に紹介しよう!

教材「マザー・テレサ」(東京書籍5年下)

(2) 単元の目標 ○書かれている内容について、事象と感想・意見の関係を押さえ、自分の考えを明確にしながらか読むことができる。 [読むこと(1)エ]

○目的や意図に応じて、文章の内容を的確に抑えながら要旨を捉えて簡単に書いたり詳しく書いたりすることができる。 [書くこと(1)ウ]

(3) 手立て

①意欲的に読ませるために

- ・活動型単元学習を取り入れる。
- ・伝記がすぐに読める環境づくりをする。

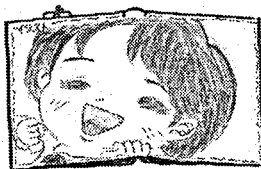
(80冊図書館から借りる。この中には、本をあまり読めない児童に対しての手立てとして、漫画風の伝記も何冊か含めた。)

②要旨を短くまとめさせるために

- ・読書カードを月1回、定期的にかさせる。
- ・「マザー・テレサ」を読み取りながら全員がマザー・テレサのブックカバーを完成させる。

<読書カード>

| 読書カード | 名前     |
|-------|--------|
| 本の題名  | モーツァルト |
| 著者    | 野田 暲行  |
| 出版社   | 集英社    |



赤ちゃんのころの  
モーツァルト

こんな人の物語です  
モーツァルトは、小さい時だれの有かりずにもバロ  
クにはなれたのな分りた第2の音楽家と云う  
入物に能く持立物でた第1の音楽家と云う  
1755年にオーストリアのザルツブルグに生  
まれました。その音楽は、今でも世界中で  
多くの人に愛されています。

印象的な言葉

『早くはもどかい世界へでいたいんだ!!』  
『早くはもどかい世界へでいたいんだ!!』  
と、早い世界の音楽をいいたい気持ち  
が伝わってくる。

| 読書カード | 名前         |
|-------|------------|
| 本の題名  | レオポルド・ゴッティ |
| 著者    | 木村尚三郎      |
| 出版社   | 集英社        |



こんな人の物語です  
ゴッティは、いばるな絵をいば  
り絵を作ったことで有名で、また、その絵は  
ゴッティの妻の絵をいばるな絵と  
いばるな絵は、1945年にゴッティが上  
まいた、その絵は、世界的有名になり今では  
多くの人が知っています。

印象的な言葉

『早くはもどかいよる音楽家になる  
』  
『早くはもどかいよる音楽家になる』  
という気持ちで描かれた絵です。

伝記の  
学習後  
の読書  
カード  
では、  
伝記を  
薦める  
児童が  
増え

(4) 指導計画

| 次<br>(時数) | 学習内容  |
|-----------|---|
| 1<br>(1)  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・本のカバーを作るという学習の見通しを持ち、教材文を通読し、初発の感想を交流する。</li> <li>・テレサの生きた時代背景を捉える。</li> </ul>  |
| 2<br>(5)  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・教材文から根拠を明確にしながらテレサの生き方を読み取り、短い言葉で表現する。</li> <li>①貧しい人たちのために働こうと決心するまでの経緯を読み取る。</li> <li>②テレサが貧しい人たちのためにしたことを読み取る。</li> <li>③ノーベル賞受賞などエピソードを読み取る。</li> <li>④テレサの一生を、ブックカバーのあらすじとして100字以内でまとめる。</li> <li>⑤印象的な言葉を選び、それを交流した後タイトルをつけ、ブックカバーにまとめる。</li> </ul> |
| 3<br>(3)  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が紹介したい伝記を選び、ブックカバーを作る。</li> </ul> <p>&lt;活用&gt;<br/>                     叙述に即して人物の生き方を読み取ること・読み取った要旨をまとめることを生かして、興味のある人物のブックカバーを作る。</p>   |
| 4         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の作った伝記のブックカバーを6年生に紹介する。</li> </ul>  |

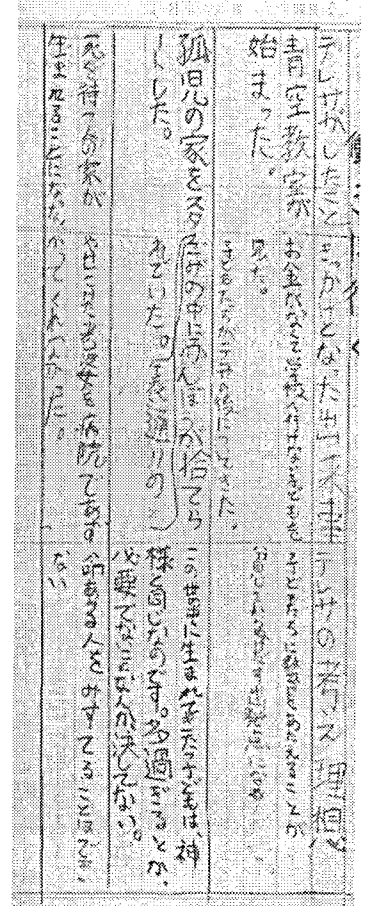
(5) 授業の様子

1次では、単元のゴールの見通しを持たせどのように伝記教材「マザー・テレサ」を読解していくのかを確認した。さらに、「マザー・テレサ」を読解していくにあたりマザー・テレサが生きた時代背景がテレサの考え方に大きく影響していると考え、テレサの生きた時代背景を資料を使って説明した。子どもたちは、自分たちで単元ゴールの相手意識を決め、6年生に紹介したいと意欲を持ち単元をスタートすることが出来た。

2次では、テレサが貧しい人たちのためにしたことをノートに表を使ってまとめながら読み取った。さらに、ブックカバーのワークシートにまとめながら読み取りをさせることでブックカバーの作り方や書く内容、まとめ方などを全員で同じ教材を使って学ぶことが出来た。ワークシートでは、【こんな人の物語です】と【タイトル】を短くまとめて書くことが予想通り難しかった。

3次では、読み取り方を生かして自分が選んだ伝記のブックカバー作りを行った。子どもたちは、伝記月間(1ヶ月間は伝記を出来るだけ読もう!)にたくさんの伝記を読んでいたのですぐに取り組むことが出来た。一度「マザー・テレサ」のブックカバー作りを行っていたので、スムーズに行うことが出来た。ブックカバー作りは、子どもたちにとって2回目だったので【こんな人の物語です】という所で字数制限を行わなかった。

4次では、80冊の伝記に自分たちが作ったブックカバーをつけ、1ヶ月間6年生教室の前に置いた。6年生児童は、ブックカバーにも興味を持ってくれ、伝記を意欲的に読むようになった。



< 2次の読み取りでの児童のノートより > →



### 3 成果と課題

(成果) 活動型単元学習をすることで、子どもたちが意欲的に授業に参加することが出来た。ブックカバー作りをするという明確な目標を持たせること(活動目標)で、読み取りを行う中でこの教材をどのようにまとめていったらいいのかを全員に考えながら読み取らせていくこと(学習目標)ができ、とても有効的だった。

また、たくさんの伝記に触れることで、自己の生き方につなげて考えることが出来るようになってきた。この授業をしてみて、子どもたちが生きていく中で少しでも多くの偉人について触れる機会を作り、それが自己の生き方につながったことが良かったと考える。毎日書く3行日記や、家庭学習の日記の中に、伝記について共感できる部分などを書く児童もでてきた。また、説明的文章だけではなく伝記教材においても、活動型単元学習は有効だと感じる事ができた。

(課題) しかし、ブックカバー作りにおいて100字程度でまとめられると思っていたため字数制限を行わなかったが、難しい児童もいた。子どもによって内容の深さに偏りがあり、課題となった。また、子どもの経験や考え方に大きく差があり、伝記教材という人の考え方に触れた文章の読解は、否定も出来ずそれぞれの考え方・感じ方を練り合うことは難しかった。伝記教材の読解方法も、これからの課題である。

<児童の日記より>

#### 「感動したこと」

5年生の2学期になって、国語で「マザー・テレサ」の勉強をすることになりました。「マザー・テレサ」の勉強のために、9月は伝記月間になりました。伝記月間というのは、読書の時間などを使ってできるだけ多くの伝記を読む月ということです。

私が読んだ伝記は、「ヘレンケラー」「ナイチンゲール」「リンカーン」「野口英世」「マリアントワネット」「キリスト」などです。その中でも一番感動したのが、「ナイチンゲール」でした。

ナイチンゲールは、家族みんなが反対しているのに必死にたのんでかん護婦になりました。軽い気持ちでなりたいたいと思っているのではなく、真げんにかん護婦になりたいと思う強い気持ち伝わり感動しました。すごく必死になって、病気の人やケガをしている人を助けたいという思いはすごいと思いました。これは、国語で勉強したマザー・テレサの貧しい人を救いたいという思いと一緒だと思いました。

そして、マザー・テレサと似ている所がもう一つありました。それは、病気で死にかけている人を最後まで見てあげると強い心があることです。テレサは、死にかかっている貧しい人を最後まで見ていました。

私は、やさしい心は大切だけどやさしいだけでは何も出来ないと思いました。やさしさと強い心がないといけないと思いました。

ナイチンゲールの生き方を知って、私はテレサやナイチンゲールのようににはできないけれど、困っているお年よりやなやんでいる小さい子どもに勇気を出して声かけをしていこうと思います。

これから、もっと色々な伝記を読んで色々な人の生き方や平和、自然について勉強をしていきたいです。